

第6回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成18年2月16日(木) 県民会館302号室	
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 萩野 聡 (富山大学経済学部教授) 委員 石黒 厚子 (財団法人北陸経済研究所主任研究員) 委員 島谷 武志 (弁護士) 委員 高見 まち子 (税理士) 委員 広瀬 慎一 (富山県立大学短期大学部長)	
次第	1 開 会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 入札・契約方式別発注工事について ② 指名停止等の運用状況について ③ 落札率について ④ 100%入札工事について ⑤ 一位不動入札について 3 審議対象工事の抽出結果の報告 (萩野委員長) 4 発注工事の審議 (抽出案件) 5 閉 会	
審査対象期間	平成16年10月1日 ~ 平成17年9月30日	
審議案件	10件 (対象工事総件数 2,302件)	
一般競争入札	1件	・神通川左岸流域下水道浄化センター水処理施設土木工事 (7・8/16系列)
公募型指名競争入札 (地域公募型)	1件	・舟川生活貯水池 付替道路工事
通常型指名競争入札 (5千万円以上)	3件	・境海岸災害復旧4号人工リーフブロック据付第2工区工事 ・魚津工業高校旧管理教室棟解体工事 ・基幹水利施設補修事業 愛本第二期地区 愛本堰堤左岸上流エプロン補修工事
通常型指名競争入札 (5千万円未満)	4件	・中山間農地防災道島二期地区余水吐水門製作据付工事 ・姿地区急傾斜地崩壊防止法面工その2工事 ・かんがい排水砺波中部2期地区諏訪川用排水路第14工区工事 ・新大長谷第一発電所余水管復旧工事
随意契約	1件	・高志リハビリテーション病院エレベータ改修工事
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会としての意見	平成16年度下半期及び平成17年度上半期発注工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。	

(問合せ先) 富山県土木部管理課業務係
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
電話番号: 076-444-3309

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○ 10 億円以上という大規模な工事で、特定JVを組んで入札を実施しているにもかかわらず、個々のJVの入札金額に差がないことはよくあることなのか。</p> <p>○ 地域公募型指名競争入札は、通常の指名競争入札と比べてどのような違いがあるのか、目的は何なのか。</p> <p>○ 入札価格は、工事現場に近い入札に参加する企業の方が安くできると考えられるが、この入札では、隣接市の業者が落札しているのはなぜか。</p> <p>○ 電子入札に対応できる業者だけを指名している案件があるがなぜか。</p> <p>○ いわゆる「一位不動」入札に対する対応はどうしていくのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の入札によって異なっている。 ・ 地域公募型指名競争入札は、土木センター管内という、より広い範囲で公募を行うことで、意欲のある企業の参加を促すというものである。 ・ 受注への意欲が高かったのではないかと考えられる。また、地元の業者を下請け業者としていることも一つの要因であると考えられる。 ・ 電子入札の導入を促進するために、電子入札と紙入札を混在させないこととしている。 ・ 今後とも実態を把握し、委員会に報告していくとともに、必要があれば調査を実施するなどの対応を行いたい。
<p>(その他)</p> <p>次回は、16年度下半期発注工事について、6月上中旬頃を目途に開催予定</p>	

特定JVとは、

特定JVは、特定の工事の施工を目的として大規模で技術的難度の高い工事を対象に工事ごとに結成される共同企業体（複数の建設業者が共同で工事を受注し、施工・完成させる方法）のこと。

一位不動とは、

1回目の入札の最低価格入札者が、2回目以降の最低価格入札者となる状況のこと。